

入学式も終わり、いよいよみなさんは“先輩”ですね。あいさつや清掃、学習、部活動などでのみなさんの姿が1年生の手本となります。先輩としての自覚をもって、日々頑張っていきましょう。

喜べば 喜びごとが 喜んで 喜び集めて 喜びに来る

悲しめば 悲しみごとが 悲しんで 悲しみ集めて 悲しみに来る

憎しめば 憎しみごとが 憎しんで 憎しみ集めて 憎しみに来る

これは仏教の教えで、すべては自分の心のありようで決まるということだそうです。私は「言葉が人生を決める」という言葉が好きだと言いましたが、それと関わりが深いような気がします。もし、自分の心次第で変わるとしたら、私は前向きに生きていきたいです。みなさんはどうでしょうか。こんなエピソードがあります。

●砂漠を2人の旅人が歩いていきます。水筒には水が半分入っています。

1人は「水が半分しかない」と言いました。

もう1人は「水がまだ半分ある」と言いました。

どちらが生き延びることができると思いますか？

●2人の職人が朝からレンガを積み上げています。

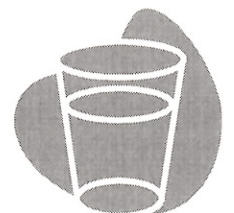
1人の職人は「まだ半分も残っている」と言いました。

もう1人の職人は「もう残りは半分だ」と言いました。

どちらがつくった家に住みたいですか？



もしかしたら聞いたことがある人もいるかもしれませんがね。今ある状況をプラスに考えるか。それともマイナスに考えるか、ということです。「半分の水がある」「レンガを半分積み上げた」という事実は変わりませんが、その捉え方によって、プラスにもマイナスにもなります。まさに、自分の心のありようで決まるということですね。そのときの自分の心の状態によって、プラスに考えたくても、できないこともあると思いますが、意識しているかどうか、によっても、多少の変化はあるのかな、と思います。



“ 事実は一つ。解釈は二つ ”